

D 続き	<ul style="list-style-type: none"> ・背景にある不安を明確化できるかが重要であり、他院の相談窓口にかけてきたことから担当医に話しにくい状況があると推察される ・相談支援センターの役割を明確に伝える必要がある <p><教育的配慮、長期的課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人教育としては、状況を説明してもらい、一緒に考える施設が重要だろう
E	<p><保留解除後、相談者に対してとるべき対応>については前出のグループ報告に同じ</p> <p><教育的配慮、長期的課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員の役割を職種によらず明確に理解しておくことが必要 ・相談員同士で振り返る機会をもつことが重要
F	<p><保留解除後、相談者に対してとるべき対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保留の後、肝膿瘍は治癒に長くかかることもあること、個別性があることを伝える ・患者とその家族が、現在かかっている病院でスムーズに治療を継続できるよう支援する ・拠点病院を受診している様子なので、その病院に相談支援センターがあること、病棟看護師などに質問してもいいことを伝える ・なぜ医師と話しにくいのか、医師と話すシミュレーションなども含め具体的に話すための方法を伝える ・相談者の気持ちの受け止めることが重要

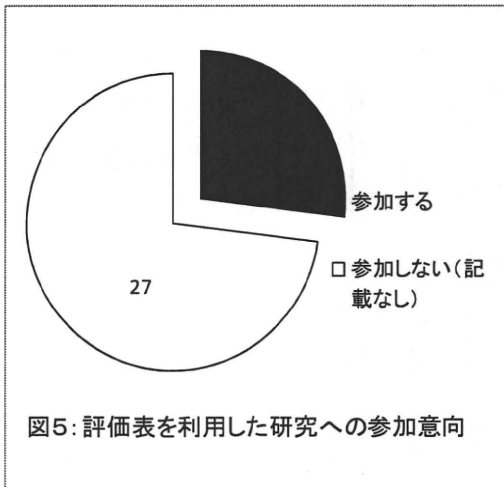
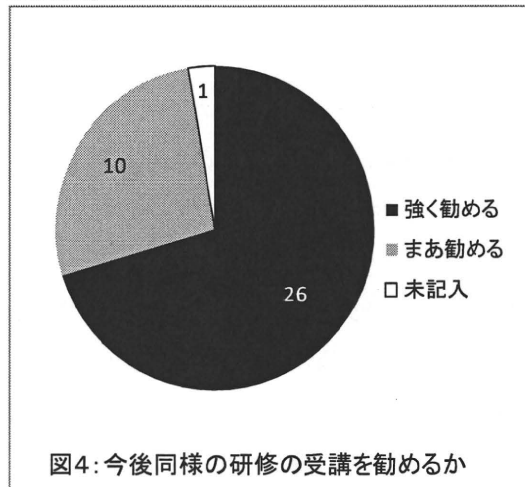
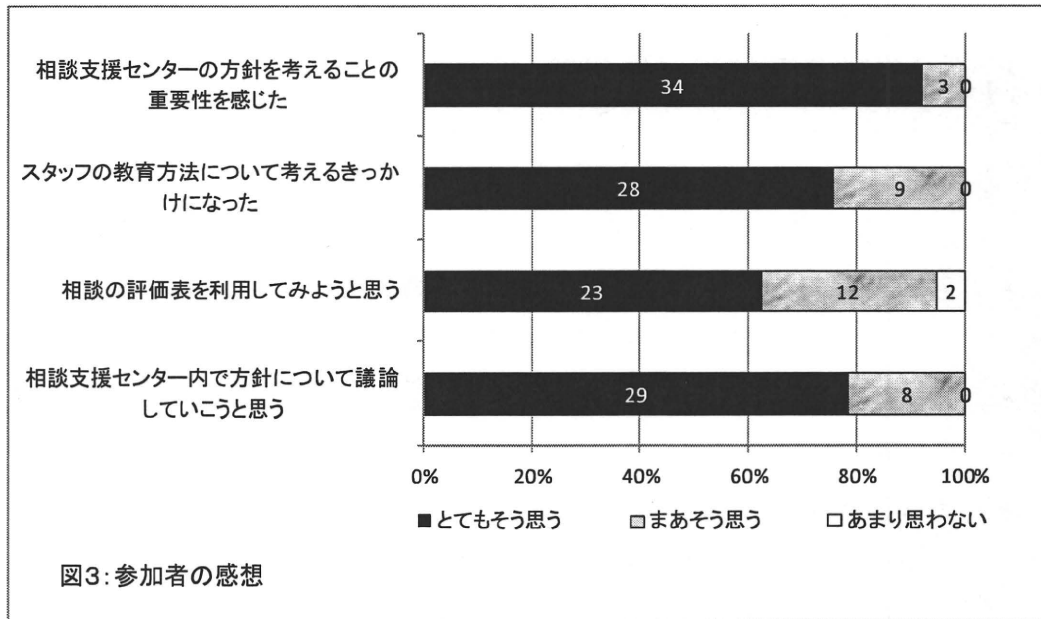
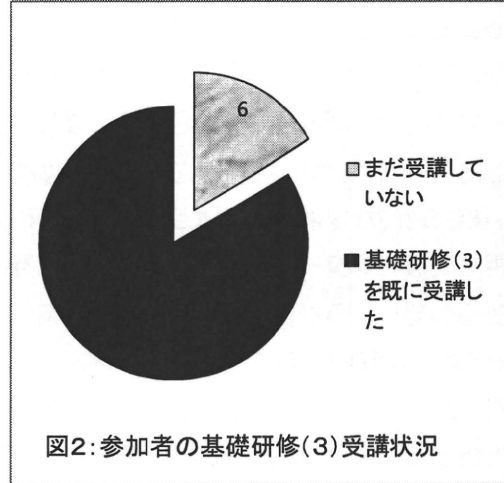
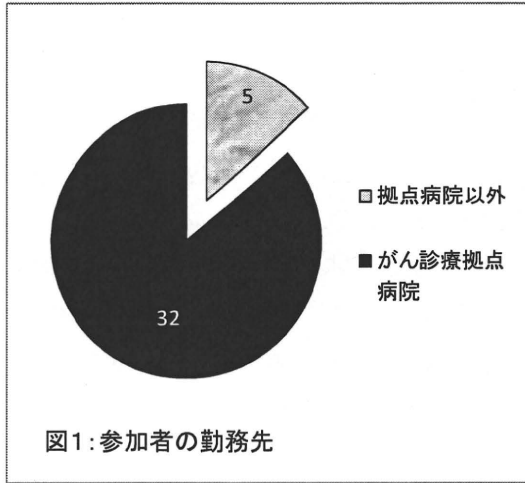
表2：評価表を利用した相談の評価についてのディスカッション

グループ	ディスカッション内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的にみると相談対応は良かった ・主訴は他院の情報がほしいというものだが、ニーズは不安や理解不足だったと思う。これをどう捉えたかで評価が分かれるのではないか ・ニーズは不安であると捉えたため、気落ちを引き出していることに高評価をした ・70代の相談者に対しての言葉遣いがやや不適切ではないか
B	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としてはあまり良くない相談（総合評価は2） ・同じ質問が繰り返されている、深刻な表明にも表面的な受け答えをしている、相談員の誘導があるというところで低評価になった ・相談者の思いが要約、整理されているところはよかった ・主治医との関係を妨げている可能性があると判断し、方針に関わる項目の(1)～(5)が0と評価した
C	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価は2（主任と共に不十分な箇所を学習する必要がある） ・要約、言い換えが少ない、クローズドな質問が多い ・担当医との話し合いの必要性について触れられずに、最終的に「様子を見ます」と本人に言わせている ・言葉遣いの不自然さがある ・相談者は主治医の方針に納得していないが、それを修正し切れていない
D	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に見ると、どちらかというとも良い相談 ・共感できていた ・具体的な行動目標が引き出せていればもっとよかったと思う ・メンタル面のアセスメントについてどこまで踏み込むかは検討が必要
E	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者のニーズをどう捉えたかにより、総合的な評価は分かれた ・ニーズを転院だと捉えた人は、あまりよくない相談と評価、検査結果に動揺した不安だと捉えた人はよい相談だと評価した ・相談の進行に沿って、整理の度合いが高まればなおよい相談になると思われた
F	<ul style="list-style-type: none"> ・減点の少ない面接だった ・メンタル面のアセスメントを掘り下げる必要があったのではないか ・骨髄検査に関する不安にあまり触れていない ・終わり方が唐突な印象があった

表3：評価表は相談支援センターの業務に役立つかどうかについてのディスカッション

グループ	ディスカッション内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・方針、理念を確認したい ・全事例でなくても、評価表を参考にしながら良かった、悪かった、その根拠について検討する機会をもちたい ・県内での共通認識をつくっていくためのツールとしても使いたい
B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表は評価ツールとして使える
C	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で実際に評価をした際、評価に対してどう対応するのかに注力してしまった例があったので、評価表はどのように使うのか、使い方が大事だと思う ・何のために評価するのかについて、評価する側、される側が共有していなければならないと思う ・失敗しても大丈夫、という環境が必要だと思うが、病院全体の体制とも関係するので難しい
D	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで自分を評価する機会がなかったので、自分の相談を見直してみたい ・一人職場の場合には誰に評価してもらうのか考える必要がある ・点数をつけること自体が目的ではなく、なぜ減点するのか、その根拠を意識することが重要だと思った
E	<ul style="list-style-type: none"> ・部署の中で理念、方針を確認したい ・評価表を自分たちにあったものにして、使っていくのも大事だと思う
F	<p>(質問) この評価表を国として導入していく方向にあるのか</p> <p>→ (主催者) 考え方を共有するコンセンサスづくりが必要な段階だと考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価が分かれた部分もあったので、マニュアルがほしい <p>→ (主催者) 今後、この評価表を参考に相談支援センターバージョンをつくっていきたいと思う</p>

参加者による感想（アンケート結果）



参考資料1： 「相談支援センターの質向上に関するワークショップ」

【開催主旨】

相談支援センターで提供する情報やサービスの質を保ち、向上させるにはどのような取り組みが必要でしょうか。

がん対策推進基本法(H19年)の施行以降3年が経過し、がん診療連携拠点病院や相談支援センターの体制整備が徐々に進められてきました。まだまだ体制整備が十分に進められていないところがある一方で、がん患者やご家族の方々からは、相談支援センターが安心して利用でき、よりよい相談対応が提供されるようにとの多くの期待が寄せられています。

相談支援センターの相談対応の質の向上をめざすには、どのような取り組みを行っていく必要があるのでしょうか。本ワークショップでは、相談支援センターにおける“相談対応の質”やそのための“実践的な取り組み”について、主に相談支援センターの実践を担い、運営されている方を対象に、同じく相談支援センターに携わる人たちと一緒に質の向上や評価方法について考える機会としたいと考え企画いたしました。ご関心がある方は是非ご応募ください。

- 日時：H22年7月4日（日）10:00～16:30
- 場所：国立がんセンター管理棟1階 第1会議
◇ 〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
都営大江戸線A3出口徒歩1分
- 対象：相談支援センターにおいて相談対応の実践者
かつ、相談支援センターの運営に携わっている方
- 人数：20～30名程度
- 参加費：無料
- 参加申し込み方法



【参加申込書】に必要事項をご記入の上、FAXまたは電子メールにて下記までお申し込みください。

- FAX： 03-3547-8577
- 電子メール：research-cisc@ml.res.ncc.go.jp
 - 参加希望者多数の場合には、ご要望に添えないこともございます。ご了承ください。

主催：がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究（厚生労働科学研究費補助金）」研究班

研究代表者：高山智子（国立がんセンター がん対策情報センター がん情報・統計部）

電話：03-3542-2511（代表） 内線5685（担当：神田、高山、八巻）

参考資料2：「相談支援センターの質向上に関するワークショップ」

【参加申込書】

FAX または電子メールで、2010年6月15日（火）12:00
までにお申し込みください。

FAX： 03-3547-8577

電子メール：research-cisc@ml.res.ncc.go.jp

◎ 6月22日（火）までに、志望動機などを参考の上選考後ご連絡を差し上げます。

1	ふりがな		
	お名前		
2	ご所属	病院名	1. がん診療連携拠点病院 2. その他の医療機関
		部署名	(役職：)
3	ご連絡先	住 所	
		電話番号	
		E-mail	
4	相談支援センターでの勤務形態	1. 専従 2. 専任 3. 兼任 4. その他 ()	
5	現在の職種	1. 福祉職 2. 看護職 3. 心理職 4. 事務職 5. その他 ()	
6	がん相談 件数	現在： _____件/週 (現在相談を受けていない場合:これまでの相談対応経験 1. あり 2. なし)	
7	今回のワークショップ参加の動機		
8	今回のワークショップに期待すること		

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）
相談支援センターの機能の強化・充実と地域における
相談支援センターのあり方に関する研究
（研究代表者：高山 智子）

分担研究報告書

相談支援センター相談員の異動状況の把握と研修の評価に関する研究

研究分担者

高山 智子 国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報統計部 室長

八巻 知香子 国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報統計部 研究員

研究協力者

小郷 祐子 国立がん研究センター がん対策情報センター がん対策企画部

研究要旨：相談支援センターの質の確保・向上は、相談者が安心して相談支援センターを利用するためにも重要である。本研究では相談支援センターの質の確保をするために不可欠である、相談員の異動状況の把握と、全国の相談員を対象に行われている相談員基礎研修(3)の学習効果について明らかにすること、また、相談員の職場環境として、快適で自己研鑽がはかれる環境になっているかについて明らかにすることを目的として、H21 年度末までの基礎研修(3)修了者 638 名を対象に、調査を実施した。

相談員の 2 年間の異動・離職割合は、8%程度に抑えられていた。また研修の主要な内容についての意識の変化の持続状況は、8 割以上にみられ、一定以上の効果が持続していることが示唆された。仕事の満足感については、やりがい感は、9 割以上があると回答していた一方で、周囲からの評価が感じられる割合が低いことが示された。また身体的な負担感も約 7 割からあるという回答が示され、相談業務に従事する際の負の要因となり得ることが示唆された。今後これらの原因を明らかにするとともに、自己研鑽をする際のさらなる負担の原因にならないように環境を整備していく必要があると考えられた。

A. 研究目的

相談員の知識やスキルの習得だけでなくそれを維持・向上させるためには、その現場でのノウハウの蓄積も必要である。とくに相談支援センターでは、院内外の情報収集と提供が行われる必要があるため、そのための院内外との連携体制やネットワークづくりにも重要である。しかし、一方で、

相談員の異動や離職が多く、相談支援センターの機能が維持され、継承されにくい状況があることが指摘されている。

相談支援センターの相談員については、基本計画に「すべての相談支援センターにおいて、5 年以内に、がん対策情報センターによる研修を修了した相談員を配置することを目標とする」ことが示され、また指

定要件においても、「国立がんセンターがん対策情報センターによる研修を修了した専従および専任の相談支援に携わるものをそれぞれ1人以上配置すること」が示された。これを受けて、相談支援センター相談員を対象とした5日間（基礎研修(1)(2)(3)）合計33時間の研修が、がん対策情報センターにより提供されている。しかし、がん対策情報センターから提供されている基礎研修で学んだことが、現場に戻った後にどの程度活用され、相談支援センターとしての意識の共有や相談対応の質の向上にどのように貢献しているか（いないのか）については、わかっていない。

そこで、本研究では、がん対策情報センターの協力のもと、1) 基礎研修(3)修了者の所属調査を行うことにより、相談員の異動及び離職状況を把握すること、2) 相談員基礎研修(3)で提供された主な研修内容について、学んだことを現在においても意識して業務を行っているか（基礎研修の学習によるインパクトの持続状況）、さらに、3) 仕事の満足感と自己研鑽および学習環境の状況について、明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法

国立がん研究センターがん対策情報センターの協力を得て、H21年度末までの基礎研修(3)修了者638名に対して、研修受講時からの所属変更の有無を平成22年8月20日～9月30日までの期間で、メールおよび電話調査により実施した。また現在の所属が確認された研修修了者に対して、基礎研修(3)の評価に関する自記式調査法によるアンケート調査を実施した。基礎研修(3)の評価に関する項目は、基礎研修(3)受講による意識の変化（「相談者の状況の多面的な理

解」「相談支援のプロセスの意識」「セカンドオピニオン相談時のファーストオピニオンへの注意」「患者会の相談時の患者会の特徴への配慮」、現在の仕事への満足感、がんに関する新しい知識・情報の習得の機会、今後の研修機会の希望等である。これらの項目については、「とてもそう思う」～「全く思わない」の4段階でたずねた。またアンケート調査については、無記名にて郵送回収を行った。

また、現在の所属が確認された場合に、基礎研修(3)の復習用DVDである「DVDで学ぶがん専門相談員のための学習の手引き（基礎研修(3)復習用）」編集・発行：国立がんセンターがん対策情報センター、後援：公益財団法人正力厚生会の送付を行った。

（倫理的配慮）

今回実施した調査は、がん対策情報センターとの共催により、研修修了者名簿については、がん対策情報センターから直接調査実施会社に依頼を行っており、本研究班では、調査票の作成、配布および回収、集計・分析を担当した。所属先確認については、がん対策情報センターで実施されているため、本研究での研究班担当箇所について個人情報取り扱いはなかった。

C. 研究結果

1) 所属調査結果

H21年度末までの基礎研修(3)修了者638名に対して、メールまたは電話による調査を実施した結果、617名（96.7%）について所属が確認された。現在も受講時と同じ所属先であったのは、583名（91.4%）、産休中4名（0.6%）、出向中1名（0.2%）、退職28名（4.4%）、病院以外の他施設へ異動1名（0.2%）、所属確認ができなかった21名

(3.3%)で、所属確認できない人も含めると、退職・異動者は合計50名(7.9%)となっていた。

また現在の所属先については、相談支援センター内405名(66.5%)、相談支援センター以外の相談に関わる配置先83名(13.6%)、その他の配置先81名(13.3%)、無回答40名(6.6%)であった。

2) 基礎研修の学習によるインパクトの持続状況調査結果

基礎研修に関するアンケートについては、所属確認がとれた617名のうち、アンケート送付先が確実に把握できた609名に対して郵送にて送付した。その結果、449名(73.7%)から回答が得られた。

基礎研修(3)の受講による変化に関する4項目「相談者の状況の多面的な理解」「相談支援のプロセスの意識」「セカンドオピニオン相談時のファーストオピニオンへの注意」「患者会の相談時の患者会の特徴への配慮」について、受講後変化があったか、それぞれ4段階でたずねた結果、「とてもそう思う」または「少しそう思う」と回答したのは、「相談者の状況の多面的な理解」394名(87.8%)、「相談支援のプロセスの意識」398名(88.6%)、「セカンドオピニオン相談時のファーストオピニオンへの注意」406名(90.4%)、「患者会の相談時の患者会の特徴への配慮」370名(82.4%)で、いずれも8割を超える結果であった。

3) 仕事の満足感と自己研鑽および学習環境の状況

現在の仕事(職務)の満足感に関する3項目について、それぞれ「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答したのは、「仕事へのやりがい感」407名(90.6%)、「仕事への

身体的負担感」308名(68.6%)、「働く部署の周囲からの評価が感じられる」287名(63.9%)であった。

新しい治療法などの知識・情報については、「1. 病院内のカンファレンスに出席する」236名(52.6%)、「2. 相談支援センターで勉強会を開催する」45名(10.0%)、「3. 自分で調べる」339名(75.5%)、「4. 外部の研修会に参加する」314名(69.9%)、「5. その他」76名(16.9%)、「6. 特に何もしない」11名(2.4%)であった。

医療・福祉の制度変更などについての知識・情報については、「1. 病院内のカンファレンスに出席する」117名(26.1%)、「2. 相談支援センターで勉強会を開催する」59名(13.1%)、「3. 自分で調べる」366名(81.5%)、「4. 外部の研修会に参加する」292名(65.0%)、「5. その他」77名(17.1%)、「6. 特に何もしない」3名(0.7%)であった。

D. 考察

1) 相談員の異動・離職状況について

相談支援センターで相談対応や院内外の連携機能を維持し、さらに改善・強化していくためには、相談支援センターで積み上げていく知識やスキルのノウハウを蓄積することが不可欠である。現在の限られた人数の中での相談員の異動や離職は、ノウハウの蓄積、つまりは相談支援センターの体制づくりに多大な影響を及ぼしうると考えられる。

今回の調査で把握された異動・離職状況においては、現在においても受講時と同じ所属先だったのは、産休中を含め587名(92.0%)であり、出向または院外への移動2名、退職28名、無回答21名であり、異動または退職は、多くても8%にとどまっ

ていることが示された。

このことから、相談員の異動・離職が多いという印象や指摘とは異なり、ほとんどの者が同じ職場に勤務していることが示された。この異動・離職割合については、日本看護協会が実施している「病院における看護職員需給状況調査」の、常勤の離職率11.9%¹と比較して低水準に抑えられていた。各拠点病院が相談員を専従、専任として配置すること、またそのスタッフについて、研修を受ける必要があることを認識して、異動をとどめている要因として効果的に働いたためと考えられる。しかし、養成人数が限られていることを考えると、1名が異動あるいは退職することのインパクトは大きく、そのインパクトの大きさが異動・離職状況の印象に効いていた可能性も高い。また、公立系の医療機関においては、本人の意思とは関係なく、異動が行われるのも事実であり、都道府県によっては、公立系の医療機関ががん診療連携拠点病院の大半を占めているところもある。したがって、今後は、こうした施設や地域の特性別の状況の違いを考慮して、異動や離職状況について把握していく必要があると考えられる。

2) 基礎研修の学習によるインパクトの持続状況（効果）について

基礎研修(3)における主な学習目標にもなっている要素についてたずねた4項目「相談者の状況の多面的な理解」「相談支援のプロセスの意識」「セカンドオピニオン相談時のファーストオピニオンへの注意」「患者会の相談時の患者会の特徴への配慮」の受講

¹ 社団法人日本看護協会「2009年病院における看護職員需給状況調査」によると、常勤11.9%、新卒8.9%、前年比0.3ポイント減であった。News Release (2010/3/16), <http://www.nurse.or.jp/home/opinion/press/2009pdf/0316sanko-2.pdf>

後の変化については、すべてにおいて8割以上が、受講後に意識の変化があったと回答していた。今回の調査対象者の研修受講後からの期間は異なるものの、一定程度以上の研修の効果が持続していることが示されたと考えられる。しかし、今回の調査については、本人の主観的な意識についてたずねた結果であり、今後は客観的にも、効果を把握できるようにしていくことが望まれる。

3) 仕事の満足感と自己研鑽および学習環境について

また、現在の仕事（職務）に関する満足感については、「仕事へのやりがい感」について90%以上と高い割合になっていた一方で、「身体的負担感」や「周囲からの評価」は、60%台と低く、働く上での負の要因となりうること、あるいは、なっていることが示唆された。今回の結果からは、なぜ低くなっているのか理由については不明であるが、周囲からの評価については、おそらく新しくできた部門であることで、周囲に認知されていないため生じているのではないかと考えられる。相談員が持続して健全に働いていくためには、今後これらの要因についての検討も必要である。

また全国レベルでの研修の機会が限られていること、がんの相談対応範囲が非常に広範囲に及び、治療法も刷新されることなどから、相談員の自己研鑽は欠かせない。今回の調査では、新しい治療法などの知識・情報、医療・福祉の制度改変などの知識・情報のいずれの場合にも、最も多かったのは「自分で調べる」であった。忙しい職場の中では特に、自己研鑽の機会は、さまざまな場面で提供されていること、また、多様な課題に対応するためには、さまざまな職

種や新しい知識を身につけられる場があることが望ましいと考えられる。今回の調査では、自分で調べる以外に、実際にどのくらいの学習の機会が周囲に存在しているのかについてはわからないが、院内や相談支援センター内、外部での機会も利用しやすい場や職場環境の整備も必要であると考えられる。

E. 結論

相談員の異動・離職状況と、基礎研修の学習効果について検討を行った。相談員の2年間の異動・離職割合は、約8%と低程度に抑えられており、拠点病院の指定要件が効果的に働いたと考えられた。しかし病院特性や地域によっては、異動が起こりやすい背景があることは否めず、今後も詳細な調査を行うとともに、対応方法を検討していく必要があると考えられた。

基礎研修の学習効果持続状況については、一定以上の効果が持続していることが示唆された。今後は、主観的な指標のみならず、客観的にも効果が測定できるようにしていくことが望まれる。また、仕事の満足感については、身体的な負担感や周囲からの評価が感じられる割合が低いなど、相談支援センターに従事する際の負の要因となり得ることが示唆され、今後これらの原因を明らかにするとともに、自己研鑽をする際のさらなる負担の原因にならないように環境を整備していく必要があると考えられた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

1. 八巻知香子, 高山智子, 神田典子, 熊谷たまき, 清水奈緒美, 植田潤, 小曲一之, 佐々木佐久子, 中川圭, 根岸利光, ハーシー久美, 本田麻由美, 山下芙美子, 清水千佳子, 的場元弘. 再発患者向け情報提供コンテンツの開発. 第48回日本癌治療学会学術集会. 2010年10月28日-30日. 京都.
2. 関由起子, 高山智子, 渡邊真理, 清水奈緒美, 八巻知香子, 河村洋子. 大学電話によるがん情報提供・相談支援の質評価ツールの検討 第48回日本癌治療学会学術集会. 2010年10月28日-30日. 京都.
3. 高山智子, 関由起子, 八巻知香子, 瀬戸山陽子, 八重ゆかり. がん相談者の質問・疑問からの情報づくり～診療ガイドラインの情報との比較から. 第48回日本癌治療学会学術集会. 2010年10月28日-30日. 京都.
4. 高山智子, 八巻知香子, 熊谷たまき. 患者・市民と協働して作成する情報づくりのあり方の検討. 第69回日本公衆衛生学会総会. 2010/10/27-29. 東京.
5. Watanabe K, Yamaki C, Takayama T, Yamamoto S, Wakao F. National distribution of comprehensive cancer information booklet for newly diagnosed patients to support decision-making on cancer care. UICC 2010 world cancer congress. 18-21 August 2010 Shenzhen, China

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

参考資料 1 :

相談員基礎研修についてのアンケート

国立がん研究センターがん対策情報センターでは、がん診療連携拠点病院の相談支援センターのがん専門相談員の方々に対して、研修事業を実施しております。

このたび、平成 19-20 年度に基礎研修（3）を受講された皆様に、復習用 DVD をお送りするとともに、基礎研修が役に立っているのか、また今後どのような研修を企画していくことが必要であるのかについてご意見を伺うアンケートを実施させていただきます。

今後の研修のあり方について重要な資料とさせていただきますので、お忙しいとは存じますが、必ずご返送いただきますようお願い申し上げます。

このアンケートは、国立がん研究センターがん対策情報センターおよび厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「相談支援センターの機能の強化・充実と地域における相談支援センターのあり方に関する研究（主任研究者：高山智子）」が共同で実施しています。

このアンケートについてのお問い合わせ先

国立がん研究センターがん対策情報センター
研修推進室 相談員研修担当（八巻、高山、小郷）
sodan-kensyu@ml.res.ncc.go.jp
03-3542-2511 内線 5686, 2293

■ I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについておうかがいします

問1. 性別 1 女性 2 男性

問2. 年齢 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代 6 60歳以上

問3. 雇用形態 1 常勤 2 非常勤
 → 付問. 勤務時間は週に何時間ですか。

問4. 現在の職種
 1 福祉職 2 看護職 3 心理職 4 事務職 5 その他 () ⑫

問5. 現在の職種の経験年数 年

問6. がんの相談支援の経験年数 年

問7. 現在の職務 1. 相談支援センターの相談員 2. それ以外 ()

問8. 相談支援センターでの勤務形態 1 専従 2 専任 3 兼任

問9. あなたが相談支援基礎研修を受けた時期はいつですか。
 それぞれについてお答え下さい。

(1) 基礎研修1	1. 平成19年度	2. 平成20年度	3. 平成21年度
(2) 基礎研修2	1. 平成19年度	2. 平成20年度	3. 平成21年度
(3) 基礎研修3	1. 平成19年度	2. 平成20年度	3. 平成21年度

問10: 基礎研修3の受講によって、以下のようなことで変化がありましたか。

	とても そう思う	少し そう思う	あまり 思わない	全く 思わない
(1) 相談者の状況を、体の状態、心の状態、暮らしの状態などに目を向けて多面的に理解できるようになった。	1	2	3	4
(2) 相談支援のプロセスを意識するようになった	1	2	3	4
(3) セカンドオピニオンの相談があった際には、相談者のファーストオピニオンについての理解に注意を払うようになった	1	2	3	4
(4) 患者会の相談があった際には、患者会がもつ特徴を理解しながら応じられるようになった。	1	2	3	4

問 11：現在の仕事（職務）についてどう感じていますか。

	とても そう思う	少し そう思う	あまり 思わない	全く 思わない
1. あなた自身の仕事にやりがいを感じますか。	1	2	3	4
2. あなた自身の仕事に身体的な負担を感じますか。	1	2	3	4
3. あなたの働いている部署が周囲から評価されていると感じますか。	1	2	3	4

問 12：今後の学習や研修についてうかがいます。

(1) 今回お送りした DVD を見ようと思いませんか。

1. すでに見た 2. 近日中に見ようと思う 3. いつか見ようと思う 4. 見たくない

(2) 今後、どのような研修があったらよいと思いませんか。

1. 新しいプログラムを作成するような研修
2. 自分の相談の質を測定するような研修
3. 新しく相談支援センターに配属された人や後輩の指導方法に関する研修
4. 医学的知識に関する研修
5. 行政的知識やがん対策の動向に関する研修
6. その他 ()

問 13：相談支援センターの質の評価に関する研究について伺います。

(1) あなたの病院の相談支援センターの相談の質について評価するの必要を感じますか。

1. とても感じる 2. 少し感じる 3. あまり感じない

(2) 相談の質の評価に関する研究に参加したいと思いませんか。

1. 思う 2. 思わない

→「思う」と回答された方には、後日、連絡させていただきますので、病院名、お名前、連絡先をお書き下さい。

(実際に参加するかどうかは、説明をきいた後に判断していただいてもかまいません)

部署 ()
氏名 ()
連絡先電話番号 ()
メールアドレス ()

最後に、相談支援センターの役割や相談員研修について、思うことがありましたらご自由にお書き下さい。

相談員基礎研修会についてのアンケート集計表

作成日：2010年10月13日
 度数(人)

設 問	選 択 肢	性別			年齢					
		全体	女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
		449	361	88	56	137	118	111	26	1
■ I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについておうかがいします										
問1. 性別	1. 女性	361	361	0	41	86	107	102	24	1
	2. 男性	88	0	88	15	51	11	9	2	0
問2. 年齢	1. 20歳代	56	41	15	56	0	0	0	0	0
	2. 30歳代	137	86	51	0	137	0	0	0	0
	3. 40歳代	118	107	11	0	0	118	0	0	0
	4. 50歳代	111	102	9	0	0	0	111	0	0
	5. 60歳以上	26	24	2	0	0	0	0	26	0
	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1
問3. 勤務先	1. 都道府県がん診療連携拠点病院	81	72	9	9	22	16	29	5	0
	2. 地域がん診療連携拠点病院	307	245	62	35	100	84	66	21	1
	3. その他	59	42	17	12	15	18	14	0	0
	無回答	2	2	0	0	0	0	2	0	0
問4. 病院の種類	1. がん専門病院	19	17	2	6	7	2	3	1	0
	2. 大学病院	92	80	12	11	25	26	22	8	0
	3. 総合病院	312	242	70	34	99	83	79	16	1
	4. その他	24	20	4	5	6	7	5	1	0
	無回答	2	2	0	0	0	0	2	0	0
問5. 雇用形態	1. 常勤	408	321	87	52	132	114	98	11	1
	2. 非常勤	33	32	1	4	3	4	12	10	0
	3. 派遣	2	2	0	0	2	0	0	0	0
	4. その他	3	3	0	0	0	0	1	2	0
	無回答	3	3	0	0	0	0	0	3	0
	付問. 勤務時間は週に何時間ですか。()時間/週 ※前設問で1以外を選択した41名対象	1. 10年以下	1	1	0	0	0	0	0	1
	2. 20年以下	4	4	0	0	0	0	2	2	0
	3. 30年以下	18	18	0	2	1	0	7	8	0
	4. 31年以上	12	11	1	1	1	4	3	3	0
	無回答	6	6	0	1	3	0	1	1	0
問6. 専門資格(あてはまるものすべてに○)	1. がん看護専門看護師	21	20	1	0	8	12	1	0	0
	2. 認定看護師	31	31	0	0	7	20	4	0	0
	3. 看護師	183	176	7	1	23	55	78	25	1
	4. 保健師	17	16	1	1	5	4	7	0	0
	5. 社会福祉士	188	121	67	50	92	26	20	0	0
	6. 精神保健福祉士	78	51	27	14	33	16	15	0	0
	7. 社会福祉主事任用資格	100	64	36	18	50	17	14	1	0
	8. 心理士	8	5	3	2	2	3	1	0	0
	9. その他	42	28	14	2	13	9	17	1	0
問7. 現在の職種の経験年数	1. 5年以下	95	79	16	40	14	15	20	6	0
	2. 10年以下	93	63	30	15	62	8	7	1	0
	3. 15年以下	66	43	23	0	51	12	3	0	0
	4. 20年以下	40	33	7	0	9	27	3	1	0
	5. 25年以下	50	45	5	0	0	41	9	0	0
	6. 30年以下	46	44	2	0	0	14	29	2	1
	7. 35年以下	35	33	2	0	0	0	31	4	0
	8. 36年以上	20	19	1	0	0	0	8	12	0
	無回答	4	2	2	1	1	1	1	0	0
問8. がんの相談支援の経験年数	1. 1年以下	44	34	10	11	12	11	9	1	0
	2. 2年以下	109	93	16	17	29	32	25	5	1
	3. 3年以下	119	97	22	16	28	31	35	9	0
	4. 4年以下	60	52	8	5	19	10	18	8	0
	5. 5年以下	27	21	6	5	9	9	3	1	0
	6. 10年以下	50	38	12	1	27	12	9	1	0
	7. 11年以上	29	18	11	0	11	9	8	1	0
	無回答	11	8	3	1	2	4	4	0	0
問9. 研修を受けた当初の配置場所は次のどれにあたりますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 相談支援センター	308	251	57	40	99	71	79	19	0
	2. 相談支援センター以外の相談に関わる配置先	98	71	27	14	27	30	22	5	0
	3. それ以外	43	39	4	2	11	17	10	2	1
問10. 現在の配置場所は次のどれにあたりますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 相談支援センター	320	257	63	42	104	74	79	20	1
	2. 相談支援センター以外の相談に関わる配置先	85	67	18	12	22	27	22	2	0
	3. それ以外	41	35	6	2	10	16	10	3	0
	無回答	3	2	1	0	1	1	0	1	0
副問10-1. 現在の相談支援センターでの勤務形態はどれにあたりますか。	1. 専従	212	176	36	23	67	49	54	18	1
	2. 専任	66	48	18	13	19	16	16	2	0
	3. 兼任	35	28	7	4	16	7	8	0	0
	4. その他	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	無回答	6	5	1	2	1	2	1	0	0
問11. あなたが受けるがん相談は平均して、1ヵ月あたり何件ぐらいですか。	1. 5件以下	67	56	11	8	23	20	15	1	0
	2. 10件以下	73	57	16	10	15	20	24	4	0
	3. 15件以下	45	39	6	4	14	11	13	2	1
	4. 20件以下	61	48	13	11	15	12	20	3	0
	5. 30件以下	49	39	10	4	17	8	11	9	0
	6. 40件以下	26	23	3	3	11	8	3	1	0
	7. 50件以下	31	23	8	1	10	12	7	1	0
	8. 51件以上	66	53	13	10	23	18	11	4	0
	無回答	31	23	8	5	9	9	7	1	0

相談員基礎研修会についてのアンケート集計表

作成日：2010年10月13日
 度数(人)

設 問	選 択 肢	全体	性別		年齢						無回答
			女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上		
		449	361	88	56	137	118	111	26	1	
副問11-1. あなたが受けるがん相談のうち、下記の人たちからの相談は1ヶ月あたり何件ぐらいですか。	(1) まだどこかの病院にもかかっていない患者さんや家族からの相談	1. 0件	122	96	26	15	36	36	32	3	0
		2. 1件未満	35	30	5	5	11	9	8	2	0
		3. 2件未満	98	78	20	10	30	27	24	7	0
		4. 3件未満	49	38	11	2	16	14	13	4	0
		5. 4件未満	12	10	2	1	1	4	5	0	1
		6. 5件未満	3	3	0	1	0	1	1	0	0
		7. 5件以上	52	46	6	6	13	14	13	6	0
	無回答	78	60	18	16	30	13	15	4	0	
	(2) 他院に通院中・入院中の患者さんや家族からの相談	1. 0件	30	26	4	5	6	13	6	0	0
		2. 1件以下	57	39	18	6	24	12	14	1	0
		3. 2件以下	62	46	16	13	16	13	19	1	0
		4. 3件以下	42	35	7	3	13	13	11	2	0
		5. 4件以下	15	11	4	2	4	3	6	0	0
		6. 5件以下	42	36	6	3	14	8	16	1	0
		7. 10件以下	66	56	10	10	11	23	16	6	0
		8. 20件以下	50	46	4	4	17	13	10	5	1
		9. 21件以上	41	35	6	5	11	12	7	6	0
		無回答	44	31	13	5	21	8	6	4	0
		問12. あなたが受けるがん以外の相談は平均して、1ヶ月あたり何件ぐらいですか。	1. 0件	49	47	2	3	12	26	7	1
2. 5件以下		68	62	6	3	16	21	19	8	1	
3. 10件以下	39	35	4	5	12	8	13	1	0		
4. 15件以下	19	18	1	3	6	2	7	1	0		
5. 20件以下	29	23	6	2	6	9	9	3	0		
6. 30件以下	43	32	11	5	13	10	13	2	0		
7. 40件以下	17	13	4	3	4	3	4	3	0		
8. 50件以下	23	17	6	6	6	6	5	0	0		
9. 100件以下	51	38	13	7	20	9	12	3	0		
10. 200件以下	44	29	15	10	18	8	6	2	0		
11. 201件以上	20	15	5	3	6	5	5	1	0		
無回答	47	32	15	6	18	11	11	1	0		
■ II. 相談支援センター相談員基礎研修会についておかがいします											
問13. あなたが基礎研修(3)を受けた時期はいつですか。	1. 平成20年度	140	105	35	11	47	31	44	7	0	
	2. 平成21年度	305	253	52	45	88	86	66	19	1	
	無回答	4	3	1	0	2	1	1	0	0	
問14. 基礎研修(3)の受講によって、以下のようなことで変化がありましたか。	(1) 相談者の状況を、体の状態、心の状態、暮らしの状態などに目を向けて多面的に理解できるようになった。	1. とてもそう思う	140	120	20	16	36	32	47	9	0
		2. 少しそう思う	254	196	58	37	80	71	50	16	0
		3. あまり思わない	49	40	9	3	18	13	13	1	1
		4. 全く思わない	3	2	1	0	2	1	0	0	0
		無回答	3	3	0	0	1	1	1	0	0
	(2) 相談支援のプロセスを意識するようになった。	1. とてもそう思う	152	118	34	18	47	38	39	10	0
		2. 少しそう思う	246	204	42	33	68	66	64	14	1
		3. あまり思わない	48	36	12	5	21	12	8	2	0
		4. 全く思わない	2	2	0	0	1	1	0	0	0
	無回答	1	1	0	0	0	1	0	0	0	
	(3) セカンドオピニオンの相談があった際には、相談者のファーストオピニオンについての理解に注意を払うようになった。	1. とてもそう思う	200	159	41	31	56	45	57	11	0
		2. 少しそう思う	206	167	39	23	64	59	46	13	1
		3. あまり思わない	35	27	8	1	15	10	7	2	0
		4. 全く思わない	3	3	0	0	2	1	0	0	0
	無回答	5	5	0	1	0	3	1	0	0	
	(4) 患者会の相談があった際には、患者会がもつ特徴を理解しながら応じられるようになった。	1. とてもそう思う	132	105	27	15	32	41	36	8	0
2. 少しそう思う		238	188	50	28	84	59	55	12	0	
3. あまり思わない		60	52	8	11	16	12	16	4	1	
4. 全く思わない		7	6	1	0	4	1	1	1	0	
無回答	12	10	2	2	1	5	3	1	0		
問15. 現在の仕事(職務)についてどう感じていますか。	1. あなた自身の仕事にやりがいを感じますか。	1. とてもそう思う	205	161	44	23	54	59	53	16	0
		2. 少しそう思う	202	167	35	30	64	50	49	8	1
		3. あまり思わない	37	30	7	2	18	8	7	2	0
		4. 全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	5	3	2	1	1	1	2	0	0	
	2. あなた自身の仕事に身体的な負担を感じますか。	1. とてもそう思う	87	64	23	7	33	25	21	1	0
		2. 少しそう思う	221	184	37	29	67	61	53	10	1
		3. あまり思わない	125	100	25	18	33	27	35	12	0
		4. 全く思わない	12	11	1	1	3	4	1	3	0
	無回答	4	2	2	1	1	1	1	0	0	
	3. あなたの働いている部署が周囲から評価されていると感じますか。	1. とてもそう思う	40	33	7	3	9	17	10	1	0
		2. 少しそう思う	247	192	55	36	78	53	63	17	0
3. あまり思わない		142	121	21	16	39	46	32	8	1	
4. 全く思わない		16	13	3	0	10	1	5	0	0	
無回答	4	2	2	1	1	1	1	0	0		
問16. がんの新しい治療法などについて、あなたはどのようにして知識・情報を得ていますか。	1. 病院内のカンファレンスに出席する	236	189	47	23	69	68	65	10	1	
	2. 相談支援センターで勉強会を開催する	45	33	12	5	11	9	16	4	0	
	3. 自分で調べる	339	268	71	39	103	90	84	23	0	
	4. 外部の研修会に参加する	314	256	58	30	95	88	80	20	1	
	5. その他	76	64	12	5	23	15	25	8	0	
	6. 特に何もしない	11	8	3	4	4	0	2	1	0	

相談員基礎研修会についてのアンケート集計表

作成日：2010年10月13日
 度数(人)

設 問	選 択 肢	全体	性別		年齢						
			女性	男性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	
		449	361	88	56	137	118	111	26	1	
問17. 医療・福祉の制度改変などについて、あなたはどのようにして知識・情報を得ていますか。	1. 病院内のカンファレンスに出席する	117	90	27	10	32	37	31	6	1	
	2. 相談支援センターで勉強会を開催する	59	45	14	5	14	15	18	6	1	
	3. 自分で調べる	366	285	81	42	124	91	88	21	0	
	4. 外部の研修会に参加する	292	231	61	44	96	74	66	11	1	
	5. その他	77	62	15	3	26	20	21	7	0	
	6. 特に何もしない	3	2	1	1	1	1	0	0	0	
問18. 今後、どのような研修があったらよいと思いますか。	1. 新しいプログラムを作成するような研修	88	64	24	11	35	18	21	3	0	
	2. 自分の相談の質を測定するような研修	200	154	46	23	64	53	50	10	0	
	3. 新しく相談支援センターに配属された人や後輩の指導方法に関する研修	149	113	36	16	49	41	38	5	0	
	4. 医学的知識に関する研修	202	151	51	41	69	36	45	11	0	
	5. 行政的知識やがん対策の動向に関する研修	258	212	46	35	73	68	64	17	1	
	6. その他	22	18	4	1	10	5	4	2	0	
問19. 相談支援センターの相談の質の評価について伺います。	(1) あなたの病院の相談支援センターの相談の質について評価するの必要を感じますか。	1. とても感じる	158	129	29	20	51	49	31	7	0
		2. 少し感じる	252	201	51	29	77	55	73	17	1
		3. あまり感じない	35	28	7	6	9	12	6	2	0
		無回答	4	3	1	1	0	2	1	0	0
	(2) 厚労省研究班で、相談の質評価に関する研究が行われています。相談の質の評価に関する研究に参加したいと思いますか。	1. 思う	214	170	44	28	59	58	57	11	1
		2. 思わない	215	176	39	27	71	52	51	14	0
		無回答	20	15	5	1	7	8	3	1	0

相談員基礎研修会についてのアンケート集計表

作成日：2010年10月13日

度数(人)

設 問	選 択 肢	勤務先				病院の種類					
		都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	
		81	307	59	2	19	92	312	24	2	
■ I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについておうかがいします											
問1. 性別	1. 女性	72	245	42	2	17	80	242	20	2	
	2. 男性	9	62	17	0	2	12	70	4	0	
問2. 年齢	1. 20歳代	9	35	12	0	6	11	34	5	0	
	2. 30歳代	22	100	15	0	7	25	99	6	0	
	3. 40歳代	16	84	18	0	2	26	83	7	0	
	4. 50歳代	29	66	14	2	3	22	79	5	2	
	5. 60歳以上	5	21	0	0	1	8	16	1	0	
	無回答	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
問3. 勤務先	1. 都道府県がん診療連携拠点病院	81	0	0	0	14	37	28	2	0	
	2. 地域がん診療連携拠点病院	0	307	0	0	5	52	239	11	0	
	3. その他	0	0	59	0	0	2	44	11	2	
	無回答	0	0	0	2	0	1	1	0	0	
問4. 病院の種類	1. がん専門病院	14	5	0	0	19	0	0	0	0	
	2. 大学病院	37	52	2	1	0	92	0	0	0	
	3. 総合病院	28	239	44	1	0	0	312	0	0	
	4. その他	2	11	11	0	0	0	0	24	0	
	無回答	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
問5. 雇用形態	1. 常勤	69	280	57	2	17	83	284	22	2	
	2. 非常勤	10	21	2	0	1	6	24	2	0	
	3. 派遣	0	2	0	0	0	0	2	0	0	
	4. その他	1	2	0	0	1	2	0	0	0	
	無回答	1	2	0	0	0	1	2	0	0	
	付問. 勤務時間は週に何時間ですか。()時間/週 ※前設問で1以外を選択した41名対象	1. 10年以下	0	1	0	0	0	1	0	0	0
	2. 20年以下	0	3	1	0	0	0	4	0	0	
	3. 30年以下	5	12	1	0	1	4	12	1	0	
	4. 31年以上	3	9	0	0	1	2	8	1	0	
	無回答	4	2	0	0	0	2	4	0	0	
問6. 専門資格(あてはまるものすべてに○)	1. がん看護専門看護師	5	13	3	0	3	7	10	1	0	
	2. 認定看護師	1	27	3	0	0	5	26	0	0	
	3. 看護師	36	127	19	1	4	38	130	11	0	
	4. 保健師	4	10	3	0	1	4	11	1	0	
	5. 社会福祉士	31	128	28	1	10	38	129	10	1	
	6. 精神保健福祉士	15	51	11	1	5	23	46	3	1	
	7. 社会福祉主事任用資格	13	72	15	0	3	18	73	5	1	
	8. 心理士	3	5	0	0	0	6	2	0	0	
	9. その他	7	26	9	0	2	7	30	2	1	
問7. 現在の職種の経験年数	1. 5年以下	21	60	14	0	9	21	58	6	1	
	2. 10年以下	19	64	9	1	4	25	63	1	0	
	3. 15年以下	9	49	8	0	3	6	50	7	0	
	4. 20年以下	9	24	7	0	0	9	31	0	0	
	5. 25年以下	3	38	9	0	1	11	36	2	0	
	6. 30年以下	10	31	5	0	1	7	32	5	1	
	7. 35年以下	8	21	6	0	1	9	22	3	0	
	8. 36年以上	2	18	0	0	0	4	16	0	0	
	無回答	0	2	1	1	0	0	4	0	0	
問8. がんの相談支援の経験年数	1. 1年以下	8	22	14	0	1	7	34	2	0	
	2. 2年以下	21	79	9	0	2	25	77	5	0	
	3. 3年以下	26	80	12	1	7	24	78	9	1	
	4. 4年以下	13	43	4	0	3	15	41	1	0	
	5. 5年以下	1	20	6	0	1	5	18	3	0	
	6. 10年以下	5	38	6	1	3	9	35	2	1	
	7. 11年以上	4	21	4	0	2	6	21	0	0	
	無回答	3	4	4	0	0	1	8	2	0	
問9. 研修を受けた当初の配置場所は次のどれに当たりますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 相談支援センター	55	218	33	2	17	68	206	15	2	
	2. 相談支援センター以外の相談に関わる配置先	18	63	17	0	1	19	73	5	0	
	3. それ以外	8	26	9	0	1	5	33	4	0	
問10. 現在の配置場所は次のどれに当たりますか。(あてはまるもの1つに○)	1. 相談支援センター	55	230	34	1	17	63	224	15	1	
	2. 相談支援センター以外の相談に関わる配置先	20	53	11	1	1	23	58	3	0	
	3. それ以外	6	22	13	0	1	6	28	5	1	
副問10-1. 現在の相談支援センターでの勤務形態はどれに当たりますか。	1. 専従	43	145	24	0	17	46	140	8	1	
	2. 専任	5	53	7	1	0	13	48	5	0	
	3. 兼任	5	27	3	0	0	3	30	2	0	
	4. その他	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	無回答	2	4	0	0	0	1	5	0	0	
問11. あなたが受けるがん相談は平均して、1ヵ月あたり何件くらいですか。	1. 5件以下	10	40	16	1	0	9	55	2	1	
	2. 10件以下	15	52	6	0	0	15	55	3	0	
	3. 15件以下	7	32	5	1	2	7	32	4	0	
	4. 20件以下	8	44	9	0	0	10	47	4	0	
	5. 30件以下	11	32	6	0	2	13	32	2	0	
	6. 40件以下	7	17	2	0	1	7	18	0	0	
	7. 50件以下	6	23	2	0	3	10	18	0	0	
	8. 51件以上	12	47	7	0	10	13	37	5	1	
	無回答	5	20	6	0	1	8	18	4	0	

相談員基礎研修会についてのアンケート集計表

作成日：2010年10月13日
 度数(人)

設問	選択肢	勤務先				病院の種類					
		都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	
		81	307	59	2	19	92	312	24	2	
副問11-1. あなたが受けるがん相談のうち、下記の人たちからの相談は1ヶ月あたり何件ぐらいですか。	(1) まだどこの病院にもかかっていない患者さんや家族からの相談	1. 0件	18	87	16	1	1	22	96	3	0
		2. 1件未満	3	26	6	0	0	7	27	1	0
		3. 2件未満	17	72	9	0	3	26	64	4	1
		4. 3件未満	12	32	5	0	3	12	30	3	1
		5. 4件未満	0	12	0	0	0	4	8	0	0
		6. 5件未満	0	2	1	0	0	0	2	1	0
		7. 5件以上	16	29	7	0	8	9	31	4	0
	無回答	15	47	15	1	4	12	54	8	0	
	(2) 他院に通院中・入院中の患者さんや家族からの相談	1. 0件	5	18	7	0	0	3	26	1	0
		2. 1件以下	9	42	5	1	0	8	49	0	0
		3. 2件以下	6	47	9	0	0	6	53	3	0
		4. 3件以下	4	31	6	1	0	10	31	1	0
		5. 4件以下	2	11	2	0	0	4	9	1	1
		6. 5件以下	10	27	5	0	1	11	28	2	0
7. 10件以下		11	45	10	0	1	18	40	6	1	
問12. あなたが受けるがん以外の相談は平均して、1ヶ月あたり何件ぐらいですか。	1. 0件	5	34	10	0	0	11	36	2	0	
	2. 5件以下	16	44	8	0	6	18	40	4	0	
	3. 10件以下	7	29	2	1	3	8	26	2	0	
	4. 15件以下	4	14	1	0	0	1	18	0	0	
	5. 20件以下	6	20	3	0	1	6	20	2	0	
	6. 30件以下	9	30	4	0	1	11	29	2	0	
	7. 40件以下	2	12	3	0	0	1	16	0	0	
	8. 50件以下	3	14	5	1	3	3	13	4	0	
	9. 100件以下	8	36	7	0	0	10	38	2	1	
	10. 200件以下	8	30	6	0	0	9	33	2	0	
	11. 201件以上	3	13	4	0	0	5	14	1	0	
無回答	10	31	6	0	5	9	29	3	1		
■ II. 相談支援センター相談員基礎研修会についておうかがいします											
問13. あなたが基礎研修(3)を受けた時期はいつですか。	1. 平成20年度	31	100	8	1	5	37	92	6	0	
	2. 平成21年度	48	205	51	1	14	53	218	18	2	
	無回答	2	2	0	0	0	2	2	0	0	
問14. 基礎研修(3)の受講によって、以下のようなことで変化がありましたか。	(1) 相談者の状況を、体の状態、心の状態、暮らしの状態などに目を向けて多面的に理解できるようになった。	1. とてもそう思う	27	98	14	1	7	36	89	7	1
		2. 少しそう思う	44	170	40	0	10	46	181	16	1
		3. あまり思わない	8	36	4	1	2	9	37	1	0
		4. 全く思わない	1	1	1	0	0	0	3	0	0
	無回答	1	2	0	0	0	1	2	0	0	
	(2) 相談支援のプロセスを意識するようになった。	1. とてもそう思う	32	103	16	1	7	37	95	13	0
		2. 少しそう思う	38	171	37	0	11	45	179	9	2
		3. あまり思わない	11	31	5	1	1	10	35	2	0
		4. 全く思わない	0	1	1	0	0	0	2	0	0
	無回答	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	(3) セカンドオピニオンの相談があった際には、相談者のファーストオピニオンについての理解に注意を払うようになった。	1. とてもそう思う	32	145	22	1	9	45	136	10	0
		2. 少しそう思う	40	135	31	0	9	39	143	13	2
3. あまり思わない		7	23	4	1	1	8	25	1	0	
4. 全く思わない		0	2	1	0	0	0	3	0	0	
無回答	2	2	1	0	0	0	5	0	0		
(4) 患者会の相談があった際には、患者会がもつ特徴を理解しながら応じられるようになった。	1. とてもそう思う	21	98	13	0	6	41	78	7	0	
	2. 少しそう思う	42	165	29	2	11	37	178	10	2	
	3. あまり思わない	14	35	11	0	2	14	39	5	0	
	4. 全く思わない	3	3	1	0	0	0	6	1	0	
無回答	1	6	5	0	0	0	11	1	0		
問15. 現在の仕事(職務)についてどう感じていますか。	1. あなた自身の仕事にやりがいを感じますか。	1. とてもそう思う	33	146	25	1	6	52	134	12	1
		2. 少しそう思う	40	135	26	1	12	34	145	10	1
		3. あまり思わない	7	25	5	0	1	5	29	2	0
		4. 全く思わない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無回答	1	1	3	0	0	1	4	0	0	
	2. あなた自身の仕事に身体的な負担を感じますか。	1. とてもそう思う	19	57	10	1	5	18	59	5	0
		2. 少しそう思う	38	152	30	1	8	46	157	9	1
		3. あまり思わない	20	89	16	0	6	25	84	9	1
		4. 全く思わない	3	8	1	0	0	2	9	1	0
	無回答	1	1	2	0	0	1	3	0	0	
	3. あなたの働いている部署が周囲から評価されていると感じますか。	1. とてもそう思う	8	26	5	1	1	11	24	4	0
		2. 少しそう思う	47	166	33	1	11	56	167	11	2
3. あまり思わない		20	104	18	0	6	23	104	9	0	
4. 全く思わない		5	10	1	0	1	1	14	0	0	
無回答	1	1	2	0	0	1	3	0	0		
問16. がんの新しい治療法などについて、あなたはどのようにして知識・情報を得ていますか。	1. 病院内のカンファレンスに出席する	49	157	29	1	11	51	163	10	1	
	2. 相談支援センターで勉強会を開催する	4	32	9	0	1	11	27	5	1	
	3. 自分で調べる	58	237	43	1	12	76	229	20	2	
	4. 外部の研修会に参加する	59	213	41	1	12	65	217	18	2	
	5. その他	20	46	10	0	6	21	44	5	0	
	6. 特に何もしない	1	8	2	0	0	2	9	0	0	